

令和6年度 学校評価計画書

学校名

三田市立本庄小学校

1 学校教育目標

本気で学ぶ 丈夫で 心豊かな 本庄っ子の育成

2 今年度の学校重点目標

- ① 主体的に学習に取り組む態度を育み、確かな学力の定着を図る。
- ② 人間としてよりよく生きるための基本的な心構えや行動の仕方について学ばせ、道徳教育の充実を図る。
- ③ 人権感覚の涵養を基盤に、人権課題を解決しようとする意欲を育む。
- ④ 児童の想像力、表現力を豊かにする読書活動を推進する。
- ⑤ 望ましい集団生活を通し、主体性を高める特別活動の推進を図る。
- ⑥ 児童の実態把握と共通理解に努め、特別支援教育を推進する。
- ⑦ 児童理解の深化を図り、生徒指導の充実に努める。
- ⑧ 体験活動を重視し、地域と連携した環境教育・ふるさと学習・伝統や文化に関する教育を推進する。
- ⑨ 学校・家庭・地域が一体となり、安全教育を推進する。
- ⑩ 国際理解教育の推進を図る。
- ⑪ 勤務時間の適正化に取り組み、ワーク・ライフ・バランスを推進する。

3 自己評価項目

分野・領域	評価項目（取組内容）
保護者、地域との連携	保護者や地域の方の声を積極的に聞き、教育活動の様子や指導内容などを分かりやすく伝える。
	『本庄っ子のやくそく』や『本庄っ子学びの応援団』をもとに家庭と連携をしたより良い生活習慣・学習習慣の確立を図る。
教育課程 学習指導	すべての教育活動で、主体的・対話的に学習へ取り組む態度を育成する。
	米や黒豆、うどん作りなど生活・総合的な学習の時間を中心に、地域の教育資源を積極的に活用した地域に根ざした教育活動を推進する。
人権教育 特別支援教育	伝え合おう朝会や全校終会時における「伝え合おうトーク」や全校道徳を通して、子どもたちの自己表現力を高め、自尊感情を育み、認め合い、高め合う態度を醸成する。
	心のアンケートを年2回開催し、児童の内面理解を図る。
	児童理解のために日常的に情報共有の機会をもち、共通理解を図る。
研修・研究	「主体的に学び、対話を通して考えを深める児童の育成」を推進し、研究テーマに則した授業改善に取り組む。
いじめ防止	生徒指導提要、いじめ防止基本方針に則り、組織的な生徒指導に取り組むとともに、地域・保護者と連携を図りながら、児童の健全な人間関係構築に向けた教育活動を実践する。